

授業科目 保健医療福祉特論

【担当教員名】 高橋 榮明、大越 満、大塚 眞理子、小山 剛 柵木 聖也、荒川 正昭、江澤 郁子 坂本 勉	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・福祉・栄養・スポ・看護・社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標 : GIO>】
保健・医療・福祉分野において、長い経験を持つ専門家による講義を通じて、各自の将来の専門職としての発展のためにその分野の諸課題を理解する。

【<学習目標>又は<行動目標 : SBO>】
・講義内容について、その時代的背景、考えの内容、受講者へのメッセージを列記できる。
・講義内容を自分自身に関連づけて述べられる。
・講義内容を自らの地域に関連づけて述べられる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
①	訪問学－在宅と訪問 「私が障がい者の家を訪問し、リハビリをする」訪問リハを言い表すこの表現は果たして正しいでしょうか。作業療法士はADL室で靴の脱ぎ方を評価しますが、訪問リハにおいては逆にそのお宅で靴の脱ぎ方を評価されています。保健医療福祉の専門職として必要な主客転倒しない考え方を一緒に考えましょう。		講師名（所属）※敬称略 ①大越 満 （ゆきよしクリニック）
②	専門職連携ができる専門職になるために 保健医療福祉の専門職連携（インタープロフェッショナルワーク：Interprofessional work）および、人々を支援する専門職になるための教育として近年注目をあびているインタープロフェッショナル教育（Interprofessional Education）について理解を深めます。専門職連携の必要性と困難さ、実践方法およびその教育、英国および国内教育の動向、特に埼玉県での専門職連携の実際と埼玉県立大学の教育実践を紹介します。		②大塚眞理子 （埼玉県立大学）
③	新しい暮らしを守り・作る時代の到来 日本における2015年問題あるいは2025年問題を見据え、これからの少子・高齢社会における保健・医療・福祉の方向性について考えます。また、地域と福祉（せいかつ）を心でつなぐ仕組みづくりに挑戦している実践を踏まえ、地域を基盤にした新しい暮らし方を提案します。		③小山 剛 （高齢者総合ケアセンター こぶし園）
④	医療とスポーツ現場を繋ぐ 近年、特に関心の深まってきているスポーツと医療の関わりについて、アスレティックトレーナーとしての立場から解説したいと思います。私自身も選手時代、病院での怪我や故障の治療を受けた後、実際に競技に戻る場面では様々な苦勞をしました。現代では、そのギャップを埋める職域が確立されようとしています。でも、実際の活動内容となると、意外と知られていないのが実情のようです。私の担当する講義で、このギャップが埋められればと願っています。		④柵木 聖也 （新潟医療福祉大学）
⑤	医を支える柱 医（医療・保健・福祉）を支える二つの柱、一つは知識・技術であり、一つは心（魂）である。心の奥にあるものは、痛める人、苦しむ人を思いやる自然な感情である。愛であり、仁であり、情である。医の現場において、私達はこの心を失ってはいけないと思う。		⑤荒川 正昭 （新潟県健康づくりスポーツ 医科学センター）
⑥	女性の健康力－健康国家への挑戦－ 国民運動の一つに女性の健康づくり対策があげられている。骨粗しょう症予防は、女性が生涯を健康で過ごすための重要な課題の一つである。そこで、発育期からの骨づくりと骨粗しょう症予防、さらに心身の健康と食生活の重要性について勉強する。		⑥江澤 郁子 戸板女子短期大学）
⑦	人として、専門職として 保健・医療・福祉に携わる我々には、常に高度の専門知識と技術が求められる。他方、障害をもった方々へのサービスの質を実際に左右するのは専門スキルだけではなく、人間的な豊かさや優しさ、対象者に対する尊敬の念など、人間的要素が大切な部分となる。ここでは専門職として、また人間として必要な自己成長・自己研鑽を考えたい。		⑦坂本 勉 （洛北義肢）

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書				
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 出席点 （毎回授業終了時にレポートを提出する）	【履修上の留意点】 授業日程が変則的なので、時間割表に記載されている日程を確認すること 履修者が320名を超過した場合には、抽選により履修が許可されます。
--------------------------------------	---